

一 飽 觀 登 海 支 協 日 同 係

S

120014

002

002

REEL No. A-0332

0 : 2

アジア歴史資料センター

電 信 案	シ或ハ本人ノ性格等ニ鑑ミ徒ラニ功ヲ急クカ如キコトナカラシム	成ヲ計ル外反蔣運動其ノ他ノ施策ニ深入スル等本來ノ目的ヲ逸脱	一 鮑觀澄支那側要人等ニ滿洲國ノ實情ヲ紹介シ日滿支提携ノ機運醸	第 二 號	電送第 11464 號	主 管 亞細亞局長	電信課長
					昭和8年6月23日 午後9時0分發	宛 在廣東 吉田總領事代理	
外 務 省				鮑觀澄支那側要人等ニ滿洲國ノ實情ヲ紹介シ日滿支提携ノ機運醸	名件録記	發 内田大臣	昭和8年6月23日起草

S

120014

003

003

電 信 案	ル様配慮アリ度									
	ニ右鮑ノ任務達成ノ爲メ當方ヨリ經費ヲ支出スルコトヲ得ス又武器									
外 務 省	讓渡等物質的援助ヲナスコトモ困難ナルニ付考慮外ニ置カレ度									
	ニ尙ホ宣傳、施策等ニ關シテハ努メテ陸海外務一途ニ出ツル方針ヲ									
	執リツツアルハ御承知ノ通りニテ貴官ニ於テモ海軍外務側ト一致									
	ノ歩調ニ出テラルル様切望ス									

(原議用紙乙)

S

120014

004

004

特外舞歌一四七七號

昭和八年六月十九日

昭
和
八
年

福国縣知事 小栗一 准

内務大臣 寺内正毅殿
外務大臣 内田康哉殿

指之森幸兵衛 殿

前駐日滿洲國公使渡来ニ関スル件

前駐日公使 鮎 鯉 澄 (36)

右ハ六月十七日大連ヨリ内司入港ノウチリソルニテ渡
来ニタルヲ本縣警務員ニ於テ視察スルニ大要カノ如シ
右及申(通)報候也

電

本名ハ六月廿五日東京ニ於テ東支鉄道買収問題ニ付中
蘇駐日公使ト交渉ノ為メ代表トシテ上京スルモノニシ
テ大橋外次長等ヨリ一足早ク上京外務省ト打合せヲ
為シ可ク極秘程ニ渡来セルモノニシテ旅客名簿ニモ蘇
籍ト記スレ他トノ交通ヲ絶チ居タルガ約一ヶ月ノ滞在
豫定ニテ其ノ間上海ニモ往復シ大連經由政國スル模様
ニシテ入港ト合時ニ内司上陸今前又特下関發列車ニテ
上京セリ

昭和八年六月廿四日

005

S 120014 005

S 120014 006

0 : 3 4

外務省

外務第一四五二號

昭和八年六月二十日

警視總監 藤沼庄平

内務大臣 山本達雄殿
 外務大臣 内田康哉殿
 逓信大臣 永井柳太郎殿
 神祇院知事殿
 大蔵省主計長官殿
 朝鮮 関東各警務局長殿

前駐日滿州國代表入京ニ関スル件

宿所 麹町區平河町六六 万平ホテル

住所 大連市星大浦

滿州國外交部
前駐日滿州國代表
秘書 何

鮑 觀 澄

文 章

ボーイ 張 本 儀

当十八年

右者上京ニ関シテハ関東(貴)廳及山口貴縣ヨリ通報アリタル
 處 鮑觀澄ハ途中前秘書孫錯名ニテ右秘書ボーイヲ
 同伴 本月十八日下関ヨリ鉄路入京 肩書ホテルニ投宿セルカ
 今次入京ノ要務ヲ内偵スルニ鮑ハ神經衰弱治療ノタメト稱シ現
 ニ、一昨十九日帝大病院内科島園博士ノ診察ヲ受ケテ月
 靜養ノ要アル旨ノ診断ヲ受ケ居レルカ又一説ニハ本名ハ坂國
 後無任地ニシテ前官禮遇ヲ受ケ 常ニ大連、新京間ヲ往復
 セルカ今回ハ軍部ト或種ノ折衝ヲ為スヘク特赦サレタルモノ
 ナリト稱スルモノアリ 動靜注意中
 右及申一通ニ報候

昭和八年六月廿二日接受

S 120014

008

S 120014

007

006

事件費支辨

電信課長	暗	電送第 11470 號	主 管 亞細亞局長
	昭和 8 年 6 月 23 日 午後 9 時 0 分 發	件	任 主 亞細亞局第一課
電信課長	件	宛 在支有吉公使 在米出淵大使 在北平中山書記官 在滿武藤大使 在南滿日高總領事	昭和 8 年 6 月 23 日 起 草
	件	鮫觀澄廣東行	
電信課長	合 第一一四六號	名 件 録 記	
電信課長	本大臣 發 廣東 宛電報 第二二二號		
電信課長	(以下左電報全文)		
電信課長	(在支公使宛ニハ南京ニ轉報アリタシト附記ノコト)		
電信課長	(在滿大使宛ニハ奉天ニ轉報アリタシト附記ノコト)		
電信課長	(聯盟局長宛ニハ除キ在歐各大使ニ轉電アリタシト附記ノコト)		
電信課長	外 務 省		

S 120014 010

003

事件費支辨

電信課長	暗	電送第 11468 號	主 管 亞細亞局長
	昭和 8 年 6 月 23 日 午後 9 時 0 分 發	件	任 主 亞細亞局第一課
電信課長	件	宛 在支有吉公使 在米出淵大使 在北平中山書記官 在滿武藤大使 在南滿日高總領事	昭和 8 年 6 月 23 日 起 草
	件	鮫觀澄廣東行	
電信課長	合 第二二九五號	名 件 録 記	
電信課長	本大臣 發 廣東 宛電報 第二一號		
電信課長	(以下左電報全文)		
電信課長	(在支公使宛ニハ南京ニ轉報アリタシト附記ノコト)		
電信課長	(在滿大使宛ニハ奉天ニ轉報アリタシト附記ノコト)		
電信課長	(聯盟局長宛ニハ除キ在歐各大使ニ轉電アリタシト附記ノコト)		
電信課長	外 務 省		

S 120014 009

007

極秘

廣東和知少佐宛第二部長 電

鮑觀澄ニ関スル件

八六、二

瑞洲國ヨリ派遣ノ鮑觀澄近々當地發赴（卑）
スルニ就テハト連繫ヲ密ニシ、概本貴電第四〇
號第一項ノ趣旨ノ通事ヲ要人萃僑等ニ瑞
洲國ノ実情ヲ紹介シ日瑞支提携東亞王道
經倫等ニ國を氣運ノ醸成ニ任セシメ反蔣運
動其他施策ニ深入リル等本末ノ目的ヲ脱逸
シ或ハ本人ノ性格等ニ因シ徒ラニ功ヲ急クカ
如キコトナカラズル様配慮セラレ度
右鮑ノ任務達成ニ中要ナル經費ハ瑞洲國ヨリ
支出スヘキハ助合ナルヲ以テ當方ヨリ之カ為貴

陸軍

官ニ特別ニ經費ヲ配當セラレヌ又施策等ノ
有武器讓渡其他物質的援助ハ之カ完備
規困難ナルニ付考慮外ニ置カレ度又鮑ニハ
當方ノ意向等ニ関シ詳細直接説明シ置
ケリ、右當方ノ對談要旨ハ貴宛宛別送ス
本書類ハ本人ニ交付シマス、尚宣傳施策
等ニ関シテハ力メテ陸海外務一途ニ出ル方
針ヲ採リツツアルハ已ニ貴友ノ承知ノ通りナリ
出先ニ於ケル特別ナル事情ハ之ヲ諒トスルモ大體
細重主義的宣傳等ニ関シテハ極力貴地
海軍外務側ト一致歩調ニ出テラル様切望ス
海軍、外務ト又連絡ス

山田千代治印行

[S]

120014

012

[S]

120014

011

009

電信課長

26

電 信 案		外 務 省	
駐日代表鮑觀澄 (印) 本邦滞在中 廣東方面ニ派遣シ支那側要人		陸軍側注意喚起 方連當處理ナル等オルカ一方陸軍側ヨリ滿洲國ハ元	
貴電第三三三三號及第三三三三號ニ關シ		件 宛 在廣東 吉田總領事代理	
昭和八年六月二十三日午後九時五分發		電送第 11469 號	
第一 〇 號		件 宛 在廣東 吉田總領事代理	
秘 密		名 件 録 記	
發 内田大臣		昭和八年六月二十三日起草	

主 管 亞細亞局長

任 主 亞細亞局長第二

[S] 120014 013 120014 011

012

電
信
案

外
務
省

[S] 120014 014

013

暗送アリ度

電
信
案

外
務
省

S 120014 015



極秘

秘第一五〇一號

昭和八年六月二十六日

警視總監 藤沼庄平

内務大臣 山本達雄殿
外務大臣 内田康哉殿

前駐日滿洲國代表 返京渡支ニ関スル件

宿所 麹町區平河町六ノ六 万平ホテル
住所 大連市星ヶ浦

滿洲國外交部附
前駐日滿洲國代表 鮑 觀 澄
秘書 何文章 夏 文 里
ボーイ 張 本 辰

右一行ノ入京ニ関シテハ本月二十日外秘第一四五二號、既報ノ慶
其ノ後鮑ハ陸相、軍事參議官眞崎甚三郎大將、參謀本部
筆ヲ訪問シ且去ルニ至リハ麹町區平河町三ノ六寶亭ニ於ケル參
謀本部員七名主催ノ眞崎大將、植田中將進級祝賀會ニ出席シ
タルカ二十三日午後十時頃箱根方面ニ靜養スルト稱シ肩書
ホテルヲ出テタルヲ以テ行先筆内查スルニ參謀本部支那班
第二部陸軍砲兵少佐高橋 坦ハ鮑ヲ親日激説得々メ
廣東 香港ニ密行シタルトニ関シハ記ノ如ク漏リ

一、鮑ハ參謀本部ト熟議ノ上廣東 香港方面ノ親日激ト
看做サルル要人ニ對シ滿洲國ノ實情ヲ宣傳シ彼等ヲシテ親
滿的態度ヲ執ラシムル様記得ノ使命ヲ帶ヒ二十三日午後十時

S 120014 017

S 120014 016

014

五十五分東京駅發列車ニテ「村川國治」ト変名（應員ニ名
モ同様偽名）シテ西下シタカ二十五日神戸出帆ノ際間近ニテ
上海ニ赴キ更ニ廣東香港方面ニ至ル豫定ニシテ今ノ行動
ニ関シテハ一被ニ極秘ニ附シ所在不明ノ形ヲ取り居レルカ
一行ノ便宜快興ニ関シテハ高橋少佐ト神戸憲兵分隊及
間孔船長同事務長ト連絡ヲ執リ居レルノミニシテ滿洲
國公使館ヘモ秘密ニシ居レリト
右及申報候。



120014

018

015

REEL No. A-0332

0 : 3 : 1

アジア歴史資料センター

衆人事録

昭和八年六月廿七日

三

亞細亞局

外務第一五〇一號

昭和八年六月二十六日

警視總監 藤沼庄平

内務大臣 山本達雄殿
外務大臣 内田康哉殿

前駐日滿洲國代表 退京渡支ニ関スル件

宿所 麹町區平河町六ノ六 万平ホテル
住所 大連市星ヶ浦

滿洲國外交部附
前駐日滿洲國代表 鮑 觀 澄
秘書 何文章 夏 大 軍
ボーイ 張 本 儀

右一行ノ入京ニ関シテハ本月二十日外務第一四五二號、既報ノ處
其ノ後鮑ハ陸相、軍事參議官眞崎甚三郎大將、參謀本部
等ヲ訪問シ且去ル二十日ハ麹町區平河町三ノ六寶亭ニ於ケル參
謀本部員七名主催ノ眞崎大將、植田中將進級祝賀會ニ出席シ
タルカ二十三日午後十時頃、箱根方面ニ靜養スルト稱シ肩書
ホテルヲ出テタルヲ以テ行先等内查スルニ參謀本部支那班
第二部陸軍砲兵少佐高橋 坦ハ鮑ヲ親日派說得ニタメ
廣東 香港ニ密行シタルヲトニ関シハ記ノ如ク漏セリ

記

一、鮑ハ參謀本部ト熟義ノ上廣東香港方面ノ親日派ト
看做サルル要人ニ對シ滿洲國ノ實情ヲ宣傳シ彼等ヲシテ親
滿的態度ヲ執ラシムル様說得ノ使命ヲ帶ヒ二十三日午後十時

S 120014 020

S 120014 019

016

五十五分東京駅發列車ニテ「村川國治」ト変名（隨員ニ名
モ同様偽名）シテ西下シタカニ十五日神戸出帆ノ際間ハニテ
上海ニ赴キ更ニ廣東香港方面ニ至ル豫定ニシテ今人ノ行動
ニ関シテハ一般ニ極秘ニ附シ所在不明ノ形式ヲ取り居レルカ
一行ノ便宜快興ニ関シテハ高橋少佐ト神戸憲兵分隊及
間ハ船長・同事務長ト連絡ヲ執リ居レルノミニシテ滿洲
國公使館ヘモ秘密ニシ居レリト
右及申報候。

S 120014

021

017

次官



亞細亞

10

歐通條情文人會
米商約報化事書計

寫送先

昭和8
7. 一
三
三
五
九
暗

廣東
本省

三十日後發	三十日後着
-------	-------

亞

内田外務大臣

吉田總領事代理

第三三六號

極秘

黃電第二二號二開シ

和知武官ハ廿五日上海ヨリ歸任セルモ當館ニ顔出シモセス在留民間ニハ上海ニ於テ拙電第三二三號ノ件ニ付須磨書記官ヨリ此ノ種緊要事項ハ捨置キ難キヲ以テ是非努力セラレ度シト全幅ノ支持ヲ得タル旨言觸ラシ居タル由ナル處廿八日日本官ニモ亦中原海軍武官ニモ一片ノ通知モ無ク突然香港ニ赴キタリ

右和知武官ノ香港行並貴電御來示ノ鮑觀澄本邦出發日取ニ照ラシ鮑

外務省

019

ハ三十日淺間丸ニテ香港着ト察セラルルニ付廿九日午後海軍武官同道小黑書記生ヲ香港ニ遣ハシタリ

香港ニ於テハ鮠ニ對シ本官ノ意嚮トシテ拙電第三三一號ノ趣旨ニ依リ廣東訪問ヲ避ク可キ様小黑ヨリ申入レサシメ海軍武官ヨリモ同様ノ意見力説ノ筈

右ニ付豫メ陸軍側ト打合セ置度キ心組ナリシ處陸軍側力冒頭貴電ニ依レハ中央ヨリ訓令アリタル趣ナルニモ拘ラス直接海軍側ニ對シ殊更ニ非協調的態度ニ出ツル以上已ム無キ處置ニシテ今後ト雖モ陸軍ノ態度ニ變化無キ限り當方トシテハ海軍側ト協調隨時適當處置ニ出ツ可シ

支、北平、南京、滿へ轉電シ香港へ暗送セリ
支ヨリ上海へ轉報アリ度シ

外務省

S

120014

023

S

120014

022

018

陸支席小陸屋特務機(漢平保)

電信寫

秘

昭和 8

暗 香港
本省

七月一日前發
一日後着

亞

内田外務大臣

第八二號

鮑視澄三十日午後着當分當地ニ滞在ノ豫定ナル由

陸、海軍へ通報アリ度シ

滿ヨリ滿洲國政府及關東軍へ通報アリ度シ

支、北平、滿へ轉電シ廣東へ發送セリ

支ヨリ南京へ轉電アリ度シ

S

120014

024

020

極秘

電信課長

大臣

次官

亞細亞

歐米

通商

條約

情報

文化

人事

文書

會計

寫送先

昭和8 一三四五八 暗 廣東 二日後發 亞
本省 七月二日後着

内田外務大臣 吉田總領事代理

第三三八號ノ一(極秘)

往電第三三六號並香港發閣下宛電報第八二號ニ關シ

二日歸任セル小黑ノ報告大様左ノ通

一、鮑(川村ト偽名)一行ハ日本語通譯何一之(軍政部部員、昭和五

年京都帝大卒)女秘書及從者ノ四名ナル處鮑ハ約一ヶ月香港ニ滞在

ノ旨語リ居タリ

三、滿洲國東京代表ヲ辭シタル鮑ハ直ニ天津ニ赴キ政治的活動開始ノ

意嚮ナリシモ新京ニ歸ルヤ和武官ノ要請ニテ突如南下ヲ決定セル

外務省

S 120014 025

由

三、鮑ノ談話

(イ)日滿議定書締結セラレテヨリ自分等ノ活動ニハ自信附キ強氣トナ

リテ多少ノ危險等ハ意ニ介セヌ今回モ亦同様ナルカ但シ支那側要人

ニシテ自分等トノ會談ヲ一大冒險ナリト考フルニ於テハ鮑迄極秘裡

ニ是ヲ行フヘシ(續ク)

外務省

S 120014 026

022

021

極秘

電信課長

大臣

次官

亞細亞 歐米 通商 條約 情報 文化 人事 文書 會計

寫送先

4

昭和8 一三四五九 暗

本 省 東

七月二日後發着

亞

内田外務大臣

吉田總領事代理

第三三六號ノ二(極秘)

自分ハ支那トノ良好關係設定ノ順序ハ結局一地方ヲ遂次固メ行ク方法ヨリ寧ロ支那全局ヲ左右シ得ル勢力ト結フ事ヲ進ムルノ優レルヲ信シ居リ大局ヲ觀望スルニ西南側(兩廣實力派ヲ指スモノノ如シ)コソ略之ニ該當スル政權ナルヤニ考ヘラルルヲ以テ(北支ノ連中ハ相手ニナラス)今回ノ南支ノ有志ト會談ノ際右様心組ニテ彼等ノ脈ヲ引キ度所存ナルカ自分ノ知レル白崇禧關係ノ者ヨリ談合ヲ試ムヘシ

外務省

S 120014 027

(ハ)上海ニ一泊ノ節廣西派ノ一味ヨリ「西南側文治派ハ過般來暗」中氣勢ノ昂揚ニ努メ中央ヨリ「然分離ノ運動ヲ目論ミ具體的運動ニ移ル風サヘ見ヘ始メタルモ陳濟棠一派ノ實力派ハ却テ暗ニ蔣介石ト提携シ居ル關係上之ヲ喜ハス且ツ此ノ際内亂メキタル策動ハ到底輿論ノ容レサル處ナルニモ頗ミ荏苒今日ニ及ヘル次第ナル旨」ヲ聞カサレタリ(續ク)

外務省

S 120014 028

極秘

電信課長

大臣

次官

亞細亞

歐米

通商

條約

情報

文化

人事

文書

會計

寫送先

昭和8

一三四六一 暗

廣東 二日後發
本省 七月二日後着

亞

内田外務大臣

吉田總領事代理

第三三八號ノ三(極秘)

小黑ヨリハ鮑ニ對シ現下ノ西南政局、一般排日貨狀況等ヲ説明シタルカ鮑ハ緊張裡ニ傾聽シ其ノ間種々質問ヲ試ミ尙各國ト西南勢力ノ關係、西南側武器入手經路及日本側ト支那要人ノ來往現況ヲ尋ネ居タルカ總テヲ聽キ終リ鮑ハ廣東ニ於ケル排日狀況等ハ未タ斯ノ如ク甚シキヤト嘆シ居タリ

五鮑ハ前類ノ豪語ニモ似ス一時落着キタル邦人旅館ニ支那人「ボイ」ノ有無ヲ密ニ小黑ニ問ヒ實ハ一昨年天津旅館ニテ支那人「ボ

外務省

S 120014 029

025

「イ」ヲ爲厄ニ遭ヒタリトテ之ヲ物語リ氣遲レノ風ヲ示シ居タリ尙鮑ハ廣東ニハ來ラサル意向ナル由ニテ出來得可クムハ香港ニ於テ本官ニ面談シ度旨述ヘ居タリト
支、北平、南京、滿ヘ轉電シ香港ヘ暗送セリ
支ヨリ上海ヘ轉電アリ度シ

外務省

S 120014 030

026

機密

八七二 一五〇〇 無線 嵯峨發 (一五一)

大 官 旅要、馬要、駐滿海、十一戰隊各司令官
長 三艦隊參謀長、在支各地武官、佐藤

機密第四五番電

一、鮑觀澄三十日香港着、

二、廣東ニ於テ政界當局者ハ勿論相當ノ人物ハ依然我方トノ會見ヲ忌避
シ居リ尙最近領事館陸軍武官室出入ノ諜報者(固天民既ニ銃殺セラ
レタルトノ說モ真相不明)ヲ逮捕セルガ如キ情況ニ付鮑ハ香港ニ滯
在シ秘密裡ニ其ノ友人陳向元(在香港廣西省銀行監督)ヲ通ジ支那
側實業家其ノ他ト漸次會見ノ機會ヲ得次第滿洲國實情紹介ニ努ムル
豫定。

二一三三〇

S 120014 031

027

極秘

電信課長

大臣
次官

亞細亞 歐米 通商 條約 情報 文化 人事 文書 會計

寫送先

昭和8 一四一六二 暗

香港 本省

十二日後發
七月十二日後着

亞

内田外務大臣

蘆野總領事代理

第九一號(極秘)

往電第八二號ニ關シ

其ノ後鮑觀澄ハ當地某邦人留守宅ニ假寓シ現ニ人目ヲ避ケ行動シツ
ツアルカ爾初ノ豫定ニテハ同人カ廣東派ニ舊知多キヲ幸ヒ之ヲ頼リ
ニ先ツ同派ノ將領ニ面會不取敢了解ヲ求メ次テ他ノ有力政治家實業
家等ニモ面接シタク滿洲國獨立ノ趣旨現狀等ヲ説明スル筈ナル趣ナ
リシ處十日日本官ノ質問ニ應シ鮑ノ語ル處ニ依レハ同人ノ豫テヨリ呢
懇ニシテ主トシテ同人ノ爲幹旋(ノ?) 筈ナル廣西銀行理事 チンコウ

外務省

ゲン

ノ意見ニテハ目下ノ情勢ニテハ尙西南ノ要人連ニトリ鮑ト會見
シタル事ヲ人ニ知ラルル時ハ先方トシテ返スヘカラサル不利ヲ招ク
次第ナレハ彼等ハ非常ニ躊躇スヘキヲ以テ チン ハ今尙鮑ノ來着セル
事スラ同派ノ要人ニハ秘シ密カニ彼等ノ意嚮ヲ探索中ニテ準備出來
次第 爾初ノ目的ニ向ツテ進ム由ナルカ右ノ事情ニテ同人ハ着香以來
十日餘ナルモ チン 外二名ニ會見シ居ルニ過キス尤モ同人ハ時機到レ
ハ目的ヲ遂行シ得ル事ト樂觀シ居リ八月末迄ニハ滿洲ニ歸ル用務有
ル由ニテ八月中頃迄滞在ノ由ナルカ本官ノ見ル處ニテハ當方面ノ形
勢ハ前記程度ノ鮑ノ目的スラ之カ達成ノ爲ニハ未ダ時機熟セス又彼
ニ其ノ力量有リヤモ疑ハシキノミナラス彼ノ滞在ヲ追々外間ニ知ラ
ルルニ至ラハ却テ逆宣傳ニ利用セラレ我ニ多大ノ不利トナル虞有ル

外務省

S 120014 033

029

S 120014 032

028

寫送先

會文人情條通歐亞
計書事化報約商米細亞

次大臣
官

電信課長

極秘

昭和8 一四一五九 暗 廣東 十二日後發 亞
本省 七月十二日後着
内田外務大臣 吉田總領事代理
第三五五號ノ一(極秘)
往電第三三八號ニ關シ
(一)十日朝香港ヨリ歸廣セル中原海軍武官ヲ通シ鮑觀澄ヨリ出來得ル
限リ早目ニ本官ニ面會シタキ旨申越ノ次第モアリタルニ付十一日
本官赴香ノ上鮑ト會談シタルカ同人ノ談話要領左ノ通
イ、自分今次南下ノ目的ハ自分カ西南一部要人ト舊知ノ間柄ナル
ヲ幸ヒ滿洲國建國ノ事情並ニ其ノ現狀ニ付此等ノ人々ニ充分説明
シ諒解ヲ求ムルニアル處未タニ此等要人連ト近ツク機會ヲ得ス何

外務省

S 120014 035

031

ニ付本官トシテハ同人カ成ルヘク早目ニ見切ヲ附ケ當地ヲ引揚クル
様指導スル考ナリ
尙取引銀行ヨリ内密ニ聞ク所ニ依レハ鮑到着直前和地武官ニ某方面
ヨリ可成リ多額ノ金額(十萬見當ト推セラル)送金アリタリ何等御
參考迄ニ申添フ
支、北平、滿ヘ轉電シ廣東ヘ暗送セリ
支ヨリ南京ヘ轉報アリタシ

外務省

S 120014 034

030

寫送先

會文人情條通歐
計書事化報約商米

亞細亞

次官
大臣

電信課長



昭和8 一四一七八 暗 廣東 十二日後發
本省 七月十二日後着 亞

内田外務大臣 吉田總領事代理

第三五五號ノ二(極秘)

自分ハ上海程度ノ雰圍氣ト思ヒ居タルカ同地ヨリモ遙カニ不良ナル
コト當地ニ參リ初メテ承知シタリ

ニ從テ自分ノ使命タル要人ニ對スル宣傳乃至諒解ハ西南方面ニ在リ
テハ未タ其ノ時機ニ非スト思考セラル依テ自分トシテハ當方ヨリ積
極的ニ近ツキ行ク意思更ニ無ク先方ヨリ申出アル場合ニ限り會談ス
ル事以外方法無カル可シ云々

(二) 鮑ハ南下ノ當初ハ相當ノ希望ヲ抱キ居タルカ爾來當地方情勢靜觀

外務省

S 120014 037

033

人トモ會談シ居ラス

ロ、李宗仁白崇禧等トハ昵懇ノ間柄ナルモ今次南下ニ付事前並ニ
事後ニ於テモ何等通報シ居ラス又此ノ際通報スルハ却テ不良ノ結
果ヲ招來スヘシト存シ居レリ胡漢民ハ知ラサルモ同人秘書ノ一人
ト懇意ナルヲ以テ彼ヲ通シ徐ニ漢民ニ話シ入ルル様致シタキモ可
成リ暇取ルヘク且漢民如キ定見ヲ(有)スル人ニ節ヲ變ヘシムル
ハ容易ニアラスト存セラレ又其他西南要人ニハ今ノ處格別ノ手掛
ナシ

ハ、豫テヨリ西南抗日氣勢ハ相當濃厚ナルヘキヲ推察シ居タルモ
當地ニ於ケル十日間ノ見聞ニ依リ其ノ豫想以上ニ激シキモノアル
ニ聊カ喫驚セリ(續ク)

外務省

S 120014 036

032

ノ結果右ハ北方トハ全ク趣ヲ異ニシ鮑ノ西南側要人ニ對スル關係程
度ニテハ容易ニ近ツキ難ク手ノ出シ様無キ現實ヲ漸ク了解セルヤニ
見受ケラレタルヲ以テ本官ハ西南ノ一般情勢ニ付簡單ニ説明シ鮑ノ
自重ヲ希望スル旨アツサリ述ヘタルカ鮑ハ斷シテ輕々ニ行動セサル
可キ旨繰返シ述ヘ居タリ
(三)然ルニ蘆野領事ノ香港正金側ヨリ得タル情報ニ依レハ相當纏マリ
タル金額最近和知武官宛送付セラレ居リ(此ノ點同領事ヨリ詳報ノ
筈)鮑一行ノ一、二ヶ月ノ生活費トシテハ餘リニ過大ニシテ何等別
途ニ使用セラルル事疑無キ處鮑自身ハ昨今自重靜觀カ最善ノ策ナル
ヲ知レルカ如キモ周圍ニ於テ右金額ヲ入手シタル上ハ如何ニ之ヲ使
用ス可キヤ注意ヲ要ス可シト存セラル

外
務
省

S 120014 038

034

尙和知武官ハ昨今主トシテ香港ニ在リ時々歸廣シ居レリ
支ヨリ上海ヘ轉報アリ度シ
支、北平、南京、滿ヘ轉電シ香港ヘ暗送セリ

外
務
省

S 120014 039

035

極秘

八 七 一 二 二 一 五 〇
一 四 〇 五 無 線 嵯峨發 (八七二)

在廣東中原武官

次 官 (旅要、馬要、駐滿海、十一戰隊司令官)
次 長 (三艦隊參謀長、在支各地武官、佐藤)

機密第五二番電

九日鮑觀澄ニ會見セル所彼ハ香港着後友人ト會見セルノミニテ未ダ
支那側要人其ノ他實業家等ト會見スルコトハ不得ナリトノ友人ノ意
見モアリ自分モ同感ニ付當方友人ヲ通ジ自分ノ意ヲ傳ヘシムル程度
ニ留ムル外ニ致シ方ナシト語レリ尙廣西省派ノ對日感情モ鮑出發前
想像セルモノトハ相違ノ點アル様漏シ居レリ
右ハ當方面ノ對日態度粵機密第四五番電ノ如キ現狀ニ於テ已ムヲ得
ザルベシ。

一一一〇〇〇

S 120014 040

037

極秘

八 七 一 二 二 一 五 〇
一 四 〇 五 無 線 嵯峨發 (八七二)

在廣東中原武官

次 官 (旅要、馬要、駐滿海、十一戰隊司令官)
次 長 (三艦隊參謀長、在支各地武官、佐藤)

機密第五二番電

九日鮑觀澄ニ會見セル所彼ハ香港着後友人ト會見セルノミニテ未ダ
支那側要人其ノ他實業家等ト會見スルコトハ不得ナリトノ友人ノ意
見モアリ自分モ同感ニ付當方友人ヲ通ジ自分ノ意ヲ傳ヘシムル程度
ニ留ムル外ニ致シ方ナシト語レリ尙廣西省派ノ對日感情モ鮑出發前
想像セルモノトハ相違ノ點アル様漏シ居レリ
右ハ當方面ノ對日態度粵機密第四五番電ノ如キ現狀ニ於テ已ムヲ得
ザルベシ。

一一一〇〇〇

S 120014 041

036

寫送先

大臣 次官
電信課長
亞細亞
歐米
通商
條約
情報
文化
人事
文書
會計

昭和8 一四三三〇 暗

廣東 十四日後發
本省 七月十四日後着
亞

內田外務大臣

極秘

吉田總領事代理

第三五八號ノ一(極秘)

往電第三五五號ノ(三)ニ關シ

一、和知武官等ニ於テ該金額ヲ入手セル上ハ鮑觀澄ノ心境如何ニ拘ラ
ス恐ラク之ヲ何等當地方面ニ於テ使用スヘキハ想像シ得ル處同武官
モ? 胡天民處刑(往電第三三七號)以來當地ノ危險ヲ覺レルカ如ク昨
今ハ全ク香港ニ於テ策動シ居リ從テ本件金子モ同地ニ於テ使用セラ
ルルモノト大体想像シ得ヘシト雖同武官等ニ於テハ累次往電ノ通其
從來ノ遣口ニ見テ該金ヲ以テ禍根ヲ將來ニ貽スカ如キ施策ニ出ツル

外務省

S 120014 042

038

チキヲ保セス憂慮ニ堪ヘサル所ナリ

ニサリトテ本官ニ於テ武官ノ策動ヲ阻止スルカ如キ措置ニ出ツルハ
策ノ得タルモノニアラサルヲ以テ寧ロ此ノ際當方ヨリ進ンテ右金額
ヲ生カシ建設的方面ニ之ヲ使用シテ滿洲國事情紹介並ニ宣傳ニ努メ
シムルカ如キ策ニ出テシムル様誘導シ禍ヲ未然ニ防クコト可然ト存
セラルル處右ニ付最モ時宜ニ適スル方法トシテ往電第三〇二號所報
ノ劉子平トノ話合ヲ想起セル次第ナリ(續ク)

外務省

S 120014 043

039

極秘

電信課長

大臣

次官

亞細亞 歐米 通商 條約 文化 人事 文書 會計

寫送先

7. 17

昭和8 一四三三五 暗

廣東 本省

十四日後發 七月十四日後着

亞

内田外務大臣

吉田總領事代理

第三五八號ノ二(極秘)

三即チ該金ノ相當巨額ナルニ鑑ミ現在專ラ香港ノ各漢字新聞檢閱ノ
衝ニ當リ居ル劉子平ニ充分了解ヲ付ケ差當リ該金ノ一部ヲ利用シ
テ劉ヲ通シ鮑觀澄ノ使命ニ副フ如キ趣旨ノ記事言論ヲ徐ニ放送ス
ル滿洲國最眞ノ一漢字新聞ヲ設ケシメ斯克テ劉ヲシテ漸時各新聞
ニ親日親滿的傾向ヲ持チ來ラシムル様措置セシムルコト然ルヘク
右ニ付テハ勿論香港領事ニ於テ隨時劉ヲ指導措置スル事ト致シタ
シ

外務省

S 120014 044

040

四就テハ和地武官等ニ對シテハ金子入手ノ事實ハ全然知ラヌ事トシ
大体右様「ライン」ニ依リ本官ハ先ツ香港領事ト協議ノ上對滿感
情融和ノ一方策トシテ鮑並ニ和地武官等ニ一應提議ノ上協議ヲ進
メ然ル後劉トノ談合ニ入り度キ心細ナリ
支ヘ轉電セリ

外務省

S 120014 045

041

第五課

親展

參謀次長宛 報

昭和八、七、二日
七、九、後九、〇〇、〇〇
廣東和知少佐

廣第主三拜(其一、三)

一、鮑觀澄ハ小官ト共ニ十七日午後九時ヨリ

香港千歳ホテルニ於テ李宗仁ニ會見

シ約二時間ニ亘リ滿洲國成立ノ由來現

狀並將來等ニ関シ十分ノ理解ヲ與フル

所アリタリ

續イテ李ハ東亞新局面打開ノ爲其

所信ヲ披瀝シタル上吾人ハ世界的眼

光ト智識トヲ基調トシ日支合策ニ依

リテ東亞ノ支那ヲ救フヘク先ツ速ニ原則

ヲ案出シ其原則ニ準據シ兩國ノ爲メ
ヘキ目的精神ヲ明ニシ之ニ依リテ一切ノ
問題ヲ解決セサルヘカラスト緒論ニ早
速ニ原則ノ案出ニ着手スル旨申出タリ
ニ李宗仁ト鮑觀澄トノ會見ハ日滿支
提携實現上極メテ有意義ナルモノニ
シテ抗日激化ノ當地方ニ於テ小官トノ
會見ナラハ未タシテ滿洲國人鮑觀澄ト
ノ會見ヲ何等躊躇スル事ナク承諾セ
ルハ李カ如何ニ東亞全局ノ新局面打開
ノ爲メ熱烈ナル態度ヲ持シアリヤヲ証明
スルニ足ルト云フヘシ

[S] 120014 047

[S] 120014 046

042

秘

電信寫

昭和8

暗

香港
本省

廿六日後發
七月廿六日後着

亞

内田外務大臣

蘆野總領事代理

第一〇二號

鮑觀澄ハ八月四日發秩父丸ニテ本邦ニ歸ルコトニ決定、船室ヲ豫約

セリ

支、廣東へ轉電セリ

S

120014

048

043

REEL No. A-0332

0:48

アジア歴史資料センター

極秘

次官 (旅要、駐滿海、十一戰隊司令官佐藤)
機密第六〇番電 其ノ一、二

一、鮑觀澄八月三日秩父丸ニテ香港發日本ヲ經テ歸滿ノ豫定、

二、鮑香港滯泊中既報ノ如キ情勢ニテ積極的活動困難ナリシヲ以テ大ナル成果を得ザリシガ如ク
左記鮑ノ談話(三日)ハ粵機密第三九番電、五二番電ト多少異ナル點アルモ御參考迄

(イ)實業家華僑等ト秘密裡ニ屢々會談セル結果彼等ノ中ニハ滿洲國ノ現狀ヲ了知シ漸次一般空氣ノ緩和
和ニ盡力スベシト約セルモノアリ、

(ロ)直接間接ニ得タル西南要人ノ意見ヲ綜合スルニ西南派ハ表面抗日ヲ稱ヘ居ルモ内實ハ今後亞細亞
問題ノ解決及支那ヲ救フ途ハ日本ト提携セザレバ不可能ナルコトヲ認メ居レリ然シナガラ現中央
政府及其ノ實權者蔣介石ニテハ從來ノ行掛リ上日支問題ヲ解決スルコト不可能ナルノミナラズ蔣
介石ハ日支問題ヲ利用シ自己ノ獨裁的政治生命ノ途ヲ策シツアルヲ以テ蔣介石ヲ打倒コトガ先
決問題ナリトナシ居レリ、

(ハ)反蔣運動ニ對スル粵桂閩三實力派ノ連絡ハ最近密接トナリ國內ノ情勢ニ依リ具體的實現ノ可能性
アリ

(ニ)第四集團軍總參謀長葉舉數日前秘密裡ニ會談セル所ニ依レバ李宗仁、白崇禧ノ對日感情ハ良好
ナルモ日本ノ真意ヲ推知スルニ困リ居レリト

(ホ)葉舉ノ談ニ依レバ、廣東政府ハ最近人ヲ米國ニ派遣シ空軍擴張(駐、飛行根據地ノ建設飛行機三
千基ノ整備ト稱シ居ルモ誇大ニシテ眞偽疑ハシ)ニ對スル援助ヲ求メツツアリ、又米國ノ十九路
軍ニ對スル武器援助ハ事實ナリ、尙佛國ハ吳晉輝煥章ヲ通シ廣西ニ對シ安南革命黨員ノ逮捕ヲ條
件トシ財政武器ノ援助ヲ申入レタルモ革命黨員ノ逮捕ハ之ヲ拒絕シ借款ノミ目下折衝中ナリト

一〇三二〇

S

120014

049

八八 一三〇〇
一七二九

無線 繼續發着 (六〇)
在 廣東 東中原武官 八九

鮑澄

044

極秘

司令部三班長 (駐滿海司令官、佐藤)

一、鮑觀澄昨三日秩父丸ニテ香港發歸滿ノ途東京ニテ海軍要路ニ會見シ度
キ希望ヲ有シ居レリト、

二、鮑ノ觀察ハ直接西南要人及當地實業家華僑等ヨリ得タルモノナリト稱
シ居ルモ突詰メテ質問セルトコロニ依レバ結局當地ニテ直接會見シ得
タル數名ノ友人ニ過ギズ其ノ觀察モ確ナル根據ニ乏シク抽象的ノモノ
多シ御參考迄。

四一九三〇

S

120014

050

045

鮑澄

極秘

電信課長

大臣

次官

亞細亞

歐米

通商

條約

情報

文化

人事

文書

會計

寫送先

昭和8

一五五三六 暗

香港 本省

四日前發
八月四日後着

亞

内田外務大臣

蘆野總領事代理

第一〇三號 (極秘)

往電第一〇二號ニ關シ

鮑觀澄四日午前零時解纜ノ秩父丸ニテ出發セリ尙同船ニハ陸軍少佐長勇及一日佛國船 *Phos* 號? ニテ何レヨリカ來航セル甘粕元大尉 (内藤政雄ト變名) モ夫々神戸及橫濱ヘ向ケ乗船セリ
支、滿ヘ轉電シ、廣東ヘ暗送セリ
支ヨリ南京ヘ轉電シ、上海ヘ轉報アリ度シ

外務省

S 120014 051

046

極秘

電信課長

大臣

次官

亞細亞

歐米

通商

條約

情報

文化

人事

文書

會計

寫送先

昭和8 一五六〇五 暗

香港 本省

五日後發
八月五日後着

亞

内田外務大臣

蘆野總領事代理

第一〇四號ノ一 (極秘)

往電第一〇三號ニ關シ

鮑觀澄來着前和地少佐ノ本官ニ語リタル處ニ依レハ鮑ハ滯香中其ノ舊知タル李宗仁、白崇禧等廣西派ノ要人ニ面接シ次テ特ニ親交アル陳コーゲン (往電第九一號參照) 及陳廉伯ニ於テ夫々財界並實業界ノ有力者ノ會合ヲ鮑ノ爲ニ催サルル手配整ヒ居ル趣ナリシカ事實ハ往電第九一號及廣東發貴大臣宛電報第三五五號ノ通ノ事情ニテ同人ハ遂ニ舊知タル廣西派ノ要人ニ面接スルコトサヘ叶ハス況ヤ他ノ一

外務省

S 120014 052

047

寫送先

會文人文情條通歐
計書事化報約商米

次大臣
官

電信課長



昭和8 一五六〇六 暗 香港 五日後發
本省 八月五日發着 亞
内田外務大臣
第一〇四號ノ二(極秘)
滿洲國トシテハ強ヒテ急キ西南ノ了解ヲ求ムルノ必要無キ事ヲ自覺
スルニ至レルモノノ如ク今後當方面ニ於ケル運動ニ付テハ何等腹案
有リヤヲ問ヒタルモ何等考ヘ居ラスト答ヘ又相當信賴スヘキ一支那
人ニテ當地ニ滿洲國ノ機關新聞設置方ニ關シ提言シタル者有ルモ之
ニモ一顧ヲモ與ヘサリシカ如シ(最近漢字新聞關係者ニシテ恐ラク
金ヲ引出サンカ爲日本側ト接觸ヲ求メ來ル者相次テ有リ廣東發賣大
臣宛電報第三〇二號劉子平ノ如キモ其ノ一ニ非スヤト推セラル)又

外務省

S 120014 054

049

般有力者ト會談スルカ如キハ思ヒモ寄ラス遂ニ滞在月餘ノ間有力者
トテハ一人モ面會セサリシモノノ如ク同人又餘リ小心翼々タルヨリ
和地モ遂ニ見切ヲ付ケ豫定ヲ切上ケ出發セシムルコトトシタルモノ
ト認メラル出發前鮑トノ會談ヨリ本官ノ得タル感觸ニ依レハ鮑ハ當
方面ト滿洲國トハ比較的緣遠ク一般民衆ハ事實左迄滿洲問題ニ關心
シ居ラス政治家及新聞紙ノ唱フル抗日失地回復ノ口號モ南京政府虐
メノ對内的意義ノ分子ノ優レルコトヲ感知シ(續ク)

外務省

S 120014 053

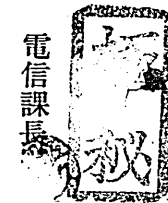
048

寫送先

會文人情條通歐亞細
計書事化報約商米

次大臣
官

電信課長



昭和8 一五六二三 暗 廣東 五日後發
本省 八月五日後着 原
内田外務大臣 吉田總領事代理
第三八一號ノ一(極秘)
三日香港ニ於テ鮑觀澄ニ面會同人出發ニ際シ當方面ニ對スル印象ヲ
質シタルニ大要左ノ通り語リタリ
一當地ニ滯在中政界ノ要人トハ全ク會見セス其ノ他ノ方面ニ於テモ
主トシテ間接ニ(主ニ陸軍側課者ヲ通シテノ意ナルカ如シ)意見ヲ
聞キタルノミニシテ直接面晤セルハ僅ニ一、二名(陳 コウゲン 等ヲ
指スモノナルヘシ)ナルカ滿洲國ニ付テモ漸次了解ヲ得ラルヘシト
ノ印象ヲ得タリ

外務省

S 120014 056

051

本官カ鮑ニ對シ陳 コーゲン ニ於テ何等カ鮑ノ目的ノ爲ニ盡カシテ吳
ルル譯ニ行カスヤト尋ネタルニ陳ハ本務忙カシトテ謝絶セル趣アリ
(事實同人ハ目下政治ヲ離レ専心銀行業ニ從事シ居ルモノノ如シ)
右ノ如ク鮑ノ渡來ハ當初^〇和地武官ノ畫策セルカ如キ目的ノ爲ニハ
何等效無カリシモ滿洲國ノ一要人カ當地ニ來リ直接西南ノ空氣ヲ体
得シタル事ハ將來ノ爲無意義ニ非サルヘシト存セラル
前電ノ通り轉電郵送セリ
支ヨリ南京、上海ヘ轉報アリタシ

外務省

S 120014 055

050

ニ自分ノ觀察ニテハ陳濟棠モ最近漸ク反蔣ニ傾ケルモノノ如ク（此ノ點格別ノ根據アルニアラス）廣西ハ廣東ニ賴ラサルヘカラサル關係上李濟深ノ策動ニ拘ラス濟棠ト離ルルコトナカルヘシ
三、陳銘樞、李濟深ハ香港ニ於テ毎日會談シ居ルモノノ如ク何レモ不遇ナル現狀カ兩人ヲ互ニ結ハシメタルモノニ過キサルヘシ（續ク）

外務省

S 120014 057

電信課長

大臣
次官

亞細亞
歐米
通商
條約
情報
文化
人事
文書
會計

寫送先

昭和8 一五六一〇 暗 廣東 五日午後發 八月五日發着 亞
本省

內田外務大臣
吉田總領事代理

第三八一號ノ二（極秘）

四當地方ノ排日、排滿ハ聲ハ大ナルモ一般民衆ハ餘リ關心ヲ置カサルモノノ如ク大シテ心配スルニ當ラス（此ノ點ハ先般來ノ同人ノ觀察ト稍異リ居ルモ折角香港迄來レル同人トシテ何等土產ナシニモ歸ラレス此ノ種言辭並前記（一）ノ將來ノ見込等ヲ土產トスル積リナルヘシ）
右ニ對シ本官ハ一應本官ノ觀察ヲ述ヘ殊ニ廣東ノ地ヲ踏マシテ濫リニ當地方面ノ排日情勢ヲ云々スルノ危險ナルヲ告ケ現ニ同人力香

外務省

S 120014 058

0:53

REEL No. A-0332

アジア歴史資料センター

港ニ於テスラ何人ニモ面晤シ得サル事實並大連ヨリ香港支那銀行ヲ
通シテノ同人宛ノ圓爲替カ支那銀行ニ於テ日本金ナル故ヲ以テ容易
ニ支拂ヲ承諾セサリシ事實等ハ此ノ間ノ消息ヲ最モ雄辯ニ語ルモノ
ニアラスヤト注意スルト共ニ本官ノ希望トシテ本邦並滿洲國當路者
ニ當方面ノ事情説明ニ當リテハ總テ事實有リノ儘ヲ最モ忠實ニ報告
シ中央ヲ「ミスリード」スルコトナキ様注意アリ度シ（續ク）

外
務
省

S

120014

059

054

秘

電信課長

大臣

次官

亞細亞

歐米

通商

條約

情報

文化

人事

文書

會計

寫送先

昭和8 一五六二六 暗

廣東 本省

五日、後發
八月五日、後着

亞

内田外務大臣

吉田總領事代理

第三十八號ノ三(極秘)

尙今後滿洲國側ニ於テ何等今回ノ如キ計畫アル場合ニハ日本外務省側ノ意見ヲ徵スルコト最モ肝要ニシテ然ラサルニ於テハ徒ニ勞多クシテ功少ク又最善ノ時機ニ最善ノ手段ヲ行フコト難カルヘシ此ノ點ハ貴下ノ今回ノ經驗ニテ充分御了解ノコトト思フモ爲念申添ユル旨述ヘタルニ鮑ハ今回ハ全ク突如軍部ヨリ話アリタル爲外務側ニ計ル暇ナカリシ次第ニテ今後ハ萬事御相談スルコトトスヘシト聊カ恐縮ノ體ニ見受ケラレタリ

外務省

S 120014 060

X055

056

柳

地?

要スルニ同人カ操縦ノ期待ト自負トヲ以テ南下セルニモ拘ラス當時鮑ノ情勢案外ニ不利ニシテ何等活動シ得サリシハ目下ノ時局ニ鑑ミ寧ロ幸ナリシト云ヒ得ヘク殊ニ西南ノ實情ヲ目ノ當リ觀察シ外務省側主張ノ通り自重ヲ要スヘキモノアルヲ悟リタルハ滿洲國當路者ノ今後ノ對西南政策決定上相當ノ效果アルモノト存セラル御參考迄支、北平、南京、滿ヘ轉電シ香港ヘ暗送セリ支ヨリ上海ヘ轉報アリタシ

外務省

S 120014 061



外秘第一九二號

昭和八年八月十二日

警視總監 藤沼庄平

内務大臣山本達雄殿
外務大臣内田康哉殿
兵庫縣知事殿

元駐日滿洲國代表入京ニ關スル件
宿所、麹町區平河町六ノ六、萬平ホテル
住所、大連市星ヶ浦

滿洲國外交部附

元駐日滿洲國代表

鮑觀澄

秘書 夏文章事

夏文運

ボーイ

張本儀

右鮑ハ參謀本部ト熟議ノ上、廣東、香港方
面ノ親日派説得ノ重要使命ヲ帶ヒ、村川
國治ト變名極秘裡ニ退京渡支セル旨、六月二
十六日外秘第一五〇一號既報ノ處一行ハ同様
變名ニテ上京セル旨、本月九日外秘第一七八五號
ヲ以テ兵庫(貴)縣ヨリ通報アリタルカ、同人等ハ
去ル九日午前九時二十四分横濱驛著列車ニテ
下車、直チニ自動車ニテ入京、肩書ホテルニ投宿



120014

063



120014

062

057

セルカ、右夏秘書及張「ホーイ」言ヲ綜合スルニ
一行ハ、浅間丸ニテ往路ハ上海ニ寄港上陸セス一
路香港ニ赴キ同地日本總領事ト共ニ各種ノ
情況調査ヲ為スト約一ヶ月、其ノ間民國人
トノ來往無カリシモノ、如ク歸路ハ香港ヨリ秩
父丸ニ乗船、上海ニ寄港上陸セス一路神戸ニ
入港直チニ上リ第六列車ニ乗換、横濱ニ
下車入京セルカ滞在約一週間ノ豫定ナル趣キ
ナリ動靜注意中
右及申(通)報候

2.



120014

064

058

亞細亞局

外秘第一九三九號

昭和八年八月十七日

警視總監 藤沼庄平

昭和八年八月十八日發

鮎 龍 松



内務大臣 山本達雄殿
外務大臣 内田康哉殿
兵庫縣知事 白根竹介殿

元駐日滿洲國代表退京ニ関スル件

宿所 麹町區平河町六ノ六、萬平ホテル
住所 大連市黒石礁四十番地

滿洲國外交部附

元駐日滿洲國代表 鮎 龍 松
秘書 夏文章ノ下 夏 文 運

ボーイ

張 本 儀

右一行ノ入京ニ関シテハ本月十二日外秘第一九三九號既報、
屢其ノ後鮎ハ記ノ通り荒木陸相、本庄侍從武官長、
真崎軍事參議官、松井台灣軍司令官其ノ他參謀本部
員等陸軍閣僚者及、丁駐日滿洲國公使大亞細亞協會
員等ト會見シ昨十六日午後九時四十五分東京駅發列車
ニテ神戸ニ向ケ西下級滿ノ途ニ就キタルカ今十七日神戸出帆、ウ
スリール凡ニテ大連經由新京、奉天ニ赴キ約一ヶ月後再渡來
スル予定ノ趣ナリ

記

一、八月十日

午前十時侍從武官長 本庄 繁 大將ノ來訪ヲ受ケ

S 120014 - 066

S 120014 - 065

059

約一時間會談

(2) 午後二時四十五分參謀本部ヲ訪問、公五時収宿
一、公十一日

午後三時夏文運同伴麹町区内幸町大邸ビル新館大
亜細亞協會ヲ訪問、公五時三十分収宿

一、公十二日

(1) 午前八時三十五分荒木陸相ヲ官邸ニ訪問、公十一時収
宿

(2) 午前十一時十分台灣軍司令官陸軍中將松井石根ノ
來訪ヲ受ケ約四十分會談
一、公十三日

午後一時十分軍事參議官 陸軍大將真崎真三郎

即ヲ訪問、公三時四十分収宿

一、公十四日

(1) 午前十一時四十五分九段階行社ニ於ケル陸軍省參謀
本部有志主催、本名招待午餐會ニ臨ミ、午後一時五十分
収宿

(2) 午後二時三十分參謀本部ヲ訪問、公四時三十分収宿
一、公十五日

(1) 午前十一時三十五分第一師團司令部ヲ訪問、午後零
時三十分収宿

(2) 午後二時四十分下滿洲國公使ノ來訪ヲ受ケ約三十
分會談

(3) 午後三時十分參謀本部ヲ訪問、次テ日本橋丸

[S]

120014

068

[S]

120014

067

060

善書店ニ寄リ、四時三十分頃

一、十六日

外出セス午後五時四十五分東京駅義列車ニテ西下
右及申(通)報候

3



120014

069

061

REEL No. A-0332

0160

アジア歴史資料センター

亞細亞

特外郵政第二七六號

第一課

昭和八年九月廿七日

昭八手

福岡縣知事

栗一雄

内務大臣 山本達雄殿

外務大臣 広田弘毅殿

拓定子爵外長殿

支那云東省 特務機關長 和知中佐 及ビ

滿洲國特務機關 甘肅大尉 渡東ニ付ル件

支那云東省 特務機關長

陸軍歩兵中佐

和知鷹 二一四

滿洲國特務機關

甘肅大尉 渡東ニ付ル件

如ハ九月ニナリ上海ヨリ門司入港ノ生駒丸ニテ後
来セルガ甘肅大尉ハ木村太郎 会社員ト偽名ニキリ
ルヲ今船乗込檢索員ニ於テ察見嚴重視察ヲ遂グルニ
口ヲ緘レテ又クヲ語ラザルモ大要左ノ如キ言動ヲ洩
セリ

又又中通報候也

記

一和知中佐、言動

自分ハ南支那特務ハ式ニ由リ今四ハ約一ヶ
年同云東省特務機關長トシテ勤務ンタルガ今回急

S 120014 071

S 120014 070

062

用、為、上海、駐、其、後、在、台、場、に、在、ル、予
定、ナ、リ、シ、テ、船、便、に、都、合、に、依、り、予、定、の、要、更、本、船、に、テ、
甘、柏、元、大、尉、ト、同、乗、門、司、ニ、来、り、即、日、二、年、停、帆、ノ、高、歌、
扶、桑、丸、ニ、テ、台、場、ニ、至、り、要、件、ノ、終、り、次、大、東、一、級、ル、
船、デ、アル、上、海、市、変、後、ノ、南、支、那、ハ、未、ダ、日、本、ニ、対、ス、
ル、認、識、不、足、ノ、実、多、ク、並、ニ、対、日、空、氣、ハ、悪、化、シ、ソ、ア、
ル、以、テ、我、々、ハ、非、常、に、苦、シ、シ、居、ル、次、オ、チ、ノ、
最、近、南、北、支、那、方、面、ヨ、リ、派、来、ス、ル、外、人、宣、教、師、ハ、殆、ン
ド、美、米、軍、人、ノ、ス、バ、イ、ニ、シ、テ、以、移、外、人、又、最、近、閩、門、ヲ、
通、過、ス、ル、外、人、ハ、最、モ、好、妙、ナル、寫、真、機、ヲ、以、テ、日、本、要、
臺、北、帝、ノ、撮、影、並、ニ、國、情、調、査、ニ、努、メ、居、ル、ヲ、以、テ、各、局、
嚴、重、ナル、取、締、ヲ、希、望、ス、ル、モ、ノ、デ、アル、

尚、同、乗、甘、柏、元、大、尉、ハ、口、ヲ、緘、シ、テ、金、ヲ、語、ラ、ザ、ル、モ、確、
々、ス、ル、ニ、滿、洲、ヨ、リ、北、支、ヲ、至、テ、上、海、ニ、来、タ、リ、本、船、ニ、
乗、船、シ、タ、ル、モ、ノ、ニ、シ、テ、門、司、上、陸、後、ハ、一、時、自、己、身、
ヲ、救、ス、ル、為、ニ、在、リ、ニ、廿、三、日、午、前、八、時、ニ、十、五、分、門、司、乗、
列、車、ニ、テ、福、岡、ニ、赴、キ、今、地、第、一、或、ハ、水、野、屋、旅、館、ノ、何、
レ、カ、ニ、一、泊、ノ、後、直、ニ、鐵、路、東、上、滬、至、三、日、間、ニ、シ、テ、
敏、滿、ス、ル、ヲ、定、ナ、リ、ト、稱、シ、ス、レ、リ、(一)

S

120014

073

S

120014

072

063